



県相談員研修会講演 小倉健氏

編集・発行/ 三重県障害者社会参加推進センター 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 TEL (059) 232-6803 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp
 社団法人 三重県身体障害者福祉連合会 三重県身体障害者総合福祉センター内 FAX (059) 231-7182 URL http://www.mie-kensinren.or.jp

日々話し合い 合意形成で活動を

社団法人 三重県身体障害者福祉連合会

会長 山本 征雄



日頃は、障がい者の福祉向上と社会参加促進事業に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「障害者自立支援法」が施行された以降に生じた諸課題について、

介護保険と統合しないことを前提として、利用者負担額の軽減や障害程度区分、報酬単価、さらには地域生活支援事業など多くの見直しを国に要望し、その実現に努めているところです。

私どもは、誰もが住みなれた地域で普通の生活ができる地域社会の基盤整備を急がなければなりません。

従いまして国等に対しては、障害者自立支援法に対する行政訴訟の基本合意を尊重し、創設される障がい者総合福祉法（仮称）への円滑な移行事項については、緊急的かつ時限的な法改正を含む措置を意見書にして、要望活動をしているところです。

国におきましては、遅くとも平成25年8月までに

基本合意の5項目の履行等を目指す一方で、時同じく平成21年11月には、地域主権戦略会議を設置して、指定障害者支援施設等の基準の条例委任、ひもつき補助金の一括交付金化などこれらの事項をこの地域主権改革2法案で制度化を目指しており、この法案の動向によって、障害者制度改革も大きく影響を受けることから、注視し、整合性を追及していく必要があります。

このような従来の仕組みが大きく変わろうとしている大変革期にあって、障がい者施策の展望については、当事者目線でさまざまな障がい者の課題やその改善策を提起するなど「協働の理念」のもとで勇氣と責任ある行動を進めてまいります。引き続き倍旧のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げますと共に、皆様の益々のご健康とご発展を切にお祈り申し上げます。

平成22年度障がい者社会参加促進事業関係

1 三重県障害者社会参加推進センター委託事業

団体名	事業名	団体名	事業名	団体名	事業名
身体障害者福祉連合会	障害者相談員研修	東海地区グラウンドソフトボール大会		知的障害者福祉協会	障がい者スポーツ教室開催
	身体障害者補助犬育成事業	全国フロアーバレーボール大会東海地区予選			知的障害者ソフトボール大会（教室）
	盲ろう者向け通訳・介助者養成研修事業	視覚障害者社会人卓球大会		精神保健福祉会	
	盲ろう者向け通訳・介助者派遣利用促進事業	聴覚障害者協会	聴覚障がい者生活訓練事業		指導者研修会
	盲ろう者生活訓練等促進事業		要約筆記奉仕員養成事業		障害別スポーツ大会選手育成強化事業
	声の「ふれあい」発行事業		手話通訳者養成事業		精神ソフトバレーボール大会
	指定居宅介護事業者情報提供事業（ガイドヘルパーネットワーク事業）		手話通訳養成ステップアップ事業		「あゆみ」発行事業
	障がい者スポーツ教室開催		手話通訳者等特別研修		
	カラーリング教室		字幕入りビデオオカセットライブラリー事業		
	フライングディスク教室		障害別スポーツ大会選手育成強化事業		
	グラウンドゴルフ教室		東海地区聴覚障害者体育大会		
	ボウリング大会（教室）		聴覚障害者バレーボール東海地区予選		
	ゲートボール大会（教室）		全国ろうあ者体育大会		
	電動車椅子サッカー教室		要約筆記奉仕員派遣事業		
	アーチェリー教室		手話通訳者派遣事業		
	車椅子テニス教室		盲ろう者向け通訳・介助者派遣事業		
	障害別スポーツ大会選手育成強化事業	三互会	オストメイト社会適応訓練事業（膀胱機能障害）	2 社会参加推進センター委託以外の社会参加推進事業	
	全国フライングディスク競技大会			団体名	事業名
	東海北陸ブロック車椅子バスケットボール地区予選	友愛会	オストメイト社会適応訓練事業（直腸機能障害）	精神障害者ボランティア団体連絡協議会	精神障がい者ボランティア団体広域的社会参加促進支援事業
	東海車椅子テニス大会				重症心身障害児（者）を守る会
	内閣総理大臣杯争奪車椅子バスケットボール選手権大会	心臓を守る会	心臓機能障がい者社会適応訓練		在宅重症心身障害児（者）療護指導事業
	全国電動車椅子サッカー大会	言葉を育てる親の会	言語療育訓練		
	全国身体障害者アーチェリー選手権大会	肢体不自由児（者）父母の会	肢体不自由児（者）体験学習交流会		
	全国車椅子テニス大会	脊髄損傷者協会	脊髄損傷者生活訓練		
	障がい者週間普及啓発事業	喉友会	音声機能障がい者発声訓練・指導者養成研修事業		
視覚障害者協会	障がい者スポーツ教室開催			3 指定管理者制度により実施の社会参加推進事業	
	水泳教室	知的障害者育成会	地域レクリエーション教室	団体名	事業名
	卓球教室			視覚障害者支援センター	点字三重等発行事業
	グラウンドゴルフ教室				点字即時ネットワーク事業
	視覚障害者ボウリング教室				視覚障害者生活訓練事業
	障害別スポーツ大会選手育成強化事業				点訳奉仕員養成事業
					朗読奉仕員養成事業
					視覚障害者情報支援事業
					小中学生普及啓発事業
				三重県身体障害者総合福祉センター	障害者スポーツ・レクリエーション大会開催
					全国障害者スポーツ大会派遣
					スポーツ指導員養成研修開催事業

障害者福祉フォーラム三重開催要綱(案)

(第56回三重県身体障害者福祉大会)

1. 目的

昨年発足した民主党連立内閣は、障害者自立支援法の廃止など障がい者施策を見直し、新たな法体系による実施を目指して、現内閣に「障がい者制度改革推進本部」が設置され、既に、その実施主体となる「障がい者制度改革推進会議」が構成員の半数以上を障がい当事者として、障害者自立支援法の廃止に伴う新制度や「障害者権利条約」の批准に向けた障害者基本法、障害者差別禁止法の制定などの整備について積極的な協議が始まっている。

特に、障害者自立支援法については、「障害者自立支援法違憲原告団」と国との基本合意により、遅くとも平成25年8月までに障害者自立支援法を廃止し、新たな総合福祉法制での施行が決定している。

まさに、障がい者施策の転換期にあって、障がい当事者の声を施策に生かす好機であり、ノーマライゼーションの理念のもと、「共生社会」の実現を目指して、障がい者自ら今できることが何かをしっかりと見据えて行動する重要な時期であるといえる。

こうした状況から、三重県における「障がいのある人の権利に関する条例」の制定に向けては、国の動向に注視しつつ、身近な生活に直結し、まちづくりにつながる実効性のある条例の制定を目指して、関係団体と連携して取り組んでいきたい。

こうした中、障がい者の自立と社会参加の推進に向けて、ノーマライゼーションの理念のもと、障がいのある人もない人も地域で生き生き暮らすことのできる社会の実現を目指し啓発を行う。

2. 日時 平成22年11月28日(日)開会 午前11時より

3. 会場

桑名市民会館
〒511-0068 桑名市中央町3丁目20番地
☎ 0594-22-8511 F 0594-22-8510

4. 主催

社団法人三重県身体障害者福祉連合会

5. 共催

三重県

6. 後援

桑名市、三重県社会福祉協議会、
桑名市社会福祉協議会

7. 参加対象

県内障がい者、行政、団体関係者、
NPO法人等約800名

8. 事業内容

(1)第1部 第56回三重県身体障害者福祉大会 11時
会長表彰 自立更生・団体育成功労・
介護功労・奉仕活動功労
スローガン入選

大会宣言、大会決議、次期開催地の決定

(2)第2部 平成22年度障害者福祉フォーラム三重 13時
講演(講演者等未定)

福祉大会スローガンの募集

内 容 身体障がい者の自立と社会参加の推進に社会の共感が得られるもの

応募資格 三重県内に在住し、障がい者に理解のある人

応募方法 郵便又はFAXにて、「スローガン、住所、氏名、年齢、電話番号、職業」を記載のうえ、下記まで送付してください。

送付先 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
社団法人三重県身体障害者福祉連合会
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

締切り日 平成22年8月27日(金)

*入選作品は、三重県福祉大会の会場で掲示し、表彰します。

あなたも参加しませんか

～障がい者同志と一緒に社会参加しましょう～

三重県身体障害者福祉連合会では、障がい者の社会参加を支援するいろいろな催し物など各種の事業を開催しています。障がい者の方であれば、自由に参加できますので、奮ってご参加ください。

なお、詳細は下記の連絡先までお問い合わせください。

月別	開催日	事業(内容)	会場
7月	11日(日)~12日(月)	障がい者ふれあい交流会 ※共同募金受託事業 (障がい者の交流会とレクリエーション)	かんぼの宿鳥羽
	19日(月・祝) 25日(日)	人権県民講座(補助犬・聴導犬を知ろう) 友愛のつどい(集団見合い)	県人権センター 四日市港ポートビル
9月	18日(土)予備19日 26日(日)	グラウンドゴルフ教室 自動車安全運転競技会	県身障総合福祉センター 三重中央自動車学校
10月	2日(土)	フライングディスク教室	県営鈴鹿スポーツガーデン体育館
11月	13日(土) 28日(日)	カラーリング教室 障害者福祉フォーラム三重(三重県身体障害者福祉大会)	県営鈴鹿スポーツガーデン体育館 桑名市民会館
12月	11日(土)	交通安全啓発事業(交通安全の研修会・啓発)	名張市
1月	26日(水)	ボウリング大会(教室)	松阪市サンパークレーン
2月	5日(土)	青年活性化対策事業(体験発表とカラオケ)	伊勢市みそのプラザ

(注)参加希望者は、開催日の1ヶ月前までに申し込んでください。

連絡先(申込先)

〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

社団法人三重県身体障害者福祉連合会
E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県知的障害者育成会

障害者虐待防止法に思う

1995年水戸事件（アカス紙器事件）、1996年サングループ事件が知的障害者への虐待事件として明らかになるとともに、それ以降も白河育成園やカリタスの家などでの虐待が続々と報道されましたが、今になっても相変わらず知的障害者への虐待の報道が続き、その内容は悲惨を極めています。

この15年、いや、ずっと潜行し、明らかになってからでしかない15年の間、社会は何をしていたのか。

私たち（全日本手をつなぐ育成会および全国の育成会）は、悲鳴を上げることができない、そればかりかこのような目にあうのは自分が悪いのだと己を責める知的障害者を救うために権利擁護委員会で協議を重ね、被害者救済と被害の防止策を求めて運動してきました。社会への発信として、様々なセミナーの開催も重ねてきました。

国会議員の方々も思いに込めていただけるようになり、与野党それぞれに法案の検討を進められ、議員提案として障害者虐待防止法案を国会に提出し、与野党間ですり合わせを行いながら成立直前まで持ち込まれるまでになりました。

私たちの間に期待感がいやがうえにも高まり、待ちに待った障害者虐待防止法成立との思いがわきあがったものでした。しかし、政局に巻き込まれ、度重なる審議未了による廃案の憂き目にあっています。

今国会でも、またぞろ政局に巻き込まれ、期待しつつも裏切られた思いを再度味わっています。

高齢者や児童にもある虐待防止法が何故障害者にはできないのか？

罰則規定がないものを作っても仕方がないとの意見があるやに聞いていますが、法がない状態で繰り返される悲惨な事件の報道をどのように受け止めているというのか？

法があれば抑止力になり、通報義務で救われる人がいるのです。法のない間は現行法で対応するというのであるならば、罰則規定を現行法で対応することで、法を制定するという選択はできないのか？どこが違うのか？

国連の障害者の権利に関する条約の批准が現実のものになりつつある中、民主党政権下で障害者制度改革推進本部が設置され、障がい者総合福祉法の制定のために議論が行われておりますが、そ

の議論はいわゆる人権条約といわれるものがベースとなっていることは周知の事実です。この中には、障害者差別禁止法の制定がうたわれていますが障害者虐待防止法ではありません。

虐待の被害者の多くが知的障害者であり、障害者の中では少数派であることが起因しているというのであれば、差別を受けていると感じる知的障害者以外の絶対多数の障害者を虐待の対象ではないとして、障害者虐待防止法の制定を阻んでいるのであれば、これを許すことはできません。自ら被害から身を守ることが障害ゆえに難しい人を放置することは、政治の怠慢でしかありません。

虐待によって人以下の扱いを受け、心がむしばまれ、二次的障害をさらに負ってしまう人もいます。望まない死に追いやられている人もいます。

身体的・心理的・経済的・性的虐待やネグレクト等から知的障害者を守るシステムの構築を切に願います。

本会としては、まず手始めに、現状で唯一守れる制度である成年後見制度の支援システムとしての障害者権利擁護センターの設置とその先の展開を願って県に提案し、第一歩を踏み出しました。

せめて、県内の知的障害者の権利擁護だけは動いて、進んでほしいと願っています。

○今後の育成会行事および事業等について

- ・県庁舎における知的障害者の職場実習事業

実施予定期間：7月5日～3月10日

- ・三重県知的障害者福祉大会

（三重県知的障害者福祉連盟主催）

日時：9月5日(日) 名張市

- ・公益法人法改正への対応
- ・障害者人材センター（ゴールド人材センター）の運営

※平成23年度は、東海北陸ブロック大会を志摩市で開催します。

☎ 059-225-3930

F 059-225-3935

ホームページ <http://www.12.ocn.ne.jp/~oyanokai/>

E-mail: oyanokai@eos.ocn.ne.jp

三重県聴覚障害者協会

昨年10月30日に、日本障害者協議会、障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動実行委員会、全日本ろうあ連盟などをつくる実行委員会

主催の「全国大フォーラム」の場で、来賓として出席した長妻昭厚労相が自立支援法の廃止を明言しました。今年1月には内閣府に「障がい者制度改革推進会議」が設置され、障害のある当事者の委員を中心に新しい障害者制度を作るべく、審議が進められるなど今後の展望に明るい希望の日差しが差し込んできた思いでした。

しかし、突然「障害者自立支援法一部改正案」なるものが、衆議院厚生労働委員会及び参議院厚生労働委員会でわずかな審議時間で可決され、国会に提案されるという事態が起きました。この一部改正案は当事者の意見を聞くことも提案をすることも知らされることなく出され、その内容は長妻昭厚労相の発言や障害者自立支援訴訟団の和解条項にある「応益負担の廃止」が盛り込まれていません。また、「新たな法整備までの暫定的なもの」と言いながら期限を設けておらず、そしてなによりも現在も審議が進められている「障がい者制度改革推進会議」の意見や議論が反映されていません。

これらの問題に対し、全日ろうあ連盟は6月初頭に島根で開催された全国ろうあ者大会で、「障害者自立支援法一部改正案に反対する緊急決議」を採択し、また「手話は言語」を広く国民に啓発・普及し、聴覚障害者の情報・コミュニケーションを保障する制度を求めて、「新しい法制度を求めるパンフ・署名運動」を行うことを満場一致で承認しました。

三重県聴覚障害者協会も昨年6月から県内各地で、かつて私たちろうあ者を取り巻いていた差別や偏見などの苦しみ、それを打ち破るための運動が描き出された「ゆずり葉」映画上映会の成功を追い風に、「新しい法制度を求めるパンフ・署名運動」を行っていくことになるでしょう。

事務局 ☎ 059-229-8540

F 059-223-4330

E-mail:deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

三重県視覚障害者協会

今年の「あいふえすた」は、10月14日の木曜日に、津リージョンプラザ「お城ホール」を会場に開催します。第70回三重県視覚障害者福祉大会、日常生活用具などの展示会、講演会（講師は、日盲連 竹下 義樹 副会長）を内容としています。講師の竹下氏は、障害者制度改革推進会議メンバーとして活躍中で、講演内容には、障害者制度改革

の情勢について触れられますので、協会会員以外の御来場もお待ちしています。

三重県障害者社会参加推進センターからの委託事業では、「水泳教室」を7月1日に、「卓球教室」を9月26日に、「ボウリング教室」を12月2日に開催します。また、選手育成強化を目的に、グランドソフトボール、フロアバレーボール、サウンドテーブルテニスの東海大会などへの参加を支援します。今年度は、「第1回東海地区盲社会人サウンドテーブルテニス大会」を9月5日に、三重県が主管して開催しますので、応援よろしくお願ひします。

三重県視覚障害者支援センター事業では、2泊3日生活訓練、1日生活訓練、半日訓練としての歩行訓練、料理教室、点字教室、日常生活用具の使い方教室などを開催します。また、情報入手に有用なITの普及を図るため、IT教室や、希望者の自宅でのITサポートなどを行います。

そして、点訳・音訳ボランティアの皆さんや、ガイドヘルパーさんたち、また、仲間の皆さんとの交流を目的とした「ハイキング」や「グラウンドゴルフ」なども実施します。

図書のデジタイ化が進んできましたので、デジタイ図書を聞くためのプレクストークの貸し出しも行っています。数は十分ではありませんが、どうぞ御利用下さい。

なお、今年の「げんき教室」は、11月25日の木曜日から26日にかけて、北勢地区で行う予定です。

各事業の募集や、詳しいことなど、その都度、毎月発行の視覚障がい者生活情報誌「はなしょうぶ」に掲載しますので、是非ご覧下さい。なお、「はなしょうぶ」は、ホームページでも御覧いただけます。

事務局 ☎ 059-228-3463

又は ☎ 059-228-6367

F 059-228-8425

ホームページ <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

E-mail:mieten@zc.ztv.ne.jp

三重県脊髄損傷者協会

政府では障害者制度の抜本的な改革を目指し、障害者団体など当事者が参加して「障害者総合福祉法」（仮称）・「障害者差別禁止法」（仮称）の制定のため作業が進められている。

「障害とは何か」という障害の定義が見直され、現在、障害者と言われている人が、障害者で無くなることもありそうです。

具体的な内容は不明ですが、この法律が施行されると現在問題点とされる多くの事項が解決に向かうと予想される。例えば、移動障害である車いすの使用者が現在利用できない公共交通機関が利用可能となる。

差別禁止では、社会の認識を大きく変えるため、「差別とは何か」を障害者と健常者の相互理解が必要となります。共生のため、障害者の方もしっかり勉強しなくてはなりません。

障害者団体としての活動も重要ですが、社会を変えるのは障害者個人の意識と活動がもっとも大切だと思います。

今年度の「障がい者の明るいくらし」促進事業は、積極的に外出できない脊髄損傷者を対象に脊髄損傷者協会とボランティアが同行して車いす利用者の公共交通機関利用訓練を4ヶ所予定しています。

- ① なぎさまち～セントレア～名古屋
- ② 津駅～尾鷲駅（普通列車乗換え体験）
- ③ 津駅～京都駅（急行列車乗換え体験）
- ④ 桑名駅～大垣駅～名古屋駅

詳細については、協会までご連絡ください。

事務局 ☎ 059-386-9733（松田）

三重喉友会

当会は全員種々の疾患のために喉頭摘出術を受け発声機能を失う障害を持つ患者会である。当会の第一の目的はその方々が第二の声を獲得し、家庭、職場、社会に楽しく復帰するよう教育する事を第一の目的としている。又会員同士の相談や親睦の場としても活発な活動がなされている。全国各県に一つは有り、連合体で「日喉連」と言う名称で、各県は独立しながらお互いに協力し、発声法を学び、その技術の向上に努力し合っている。中途障害で突然発声不能になるとさらに様々な障害が起る。本年の発声訓練行事は以下の通り。

毎月 発声教室を開催中

※第一水曜日 13時～15時 市立四日市病院発声教室

※第二木曜日 10時～12時 山田赤十字病院発声教室

※第三木曜日 10時～12時 三重大学病院発声教室

研修会…東京、大阪、神戸などで開催され、希望者は参加出来る。

総会…春と秋の年2回、三重大学医学部三翠ホールで開催。1泊研修もあり実生活の体験、親睦の場とし活用。

事務局 ☎ 0596-24-1901（脇田）

F 0596-24-6256

友愛会

去る3月20日アスト津において新会員研修会を開催しました。県立総合医療センター 大川恵美皮膚排泄ケア認定看護師、四日市社会保険病院 大野佳子皮膚排泄ケア認定看護師、三重大学医学部付属病院 林 智世皮膚排泄ケア認定看護師と会員体験者が参加しストーマケア特にパウチの選定等議論し指導を受け有意義な研修がなされた。又5月16日 22年度総会が開催され21年度事業報告、決算ならびに22年度事業計画、予算が審議され承認された。引き続き春研修会が開かれオストメイトの災害対策について勉強会を行った。内容は「災害は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」「まずは周到な用意を」「災害へ備えるポイント」「災害発生時の行動について」「外出時の災害対策も忘れずに」「その他注意事項」について勉強をし、会員の体験、意見をもとに討論した。

今後の予定は総会及び春研修会の他、春宿泊体験研修22年6月、秋研修会22年10月、秋宿泊体験研修22年11月、新会員研修会23年3月に予定しています。

連絡先 ☎ 0596-52-5623（豊田）

メールアドレス xtkwy255@ybb.ne.jp

三互会

5月30日 平成22年度総会及び春の学習会をアスト津4階で開催しました。平成21年度の活動報告と決算報告、22年度事業計画・予算案が提案され承認されました。

午後の学習会は三重大学医学部附属病院腎泌尿器外科 木瀬英明先生による医療相談及び皮膚排泄ケア認定看護師によるストーマケアについて会員からの質問にお答え戴きました。在宅におけるストーマケアを担っている訪問看護ステーションの実態及びニーズについての日本オストミー協会調査報告に基づき、医師・看護師に関係する課題にそれぞれの立場から説明を受けました。

（社）日本オストミー協会ではストーマケアの先進国としてモンゴルオストミー協会を支援しています。オストメイトや看護師へのストーマリハビリテーションに関する医療講演や友好交流をしています。

モンゴル国内では「補装具が自由に買えない、皮膚かぶれがひどい、モンゴル国内の福祉制度が整っていない」などの課題があり、日本より補装

具の寄贈などの支援をしています。

三互会でも会員の家族の申し出により遺品の補装具を、協会本部を通じてモンゴルへ送付しています。

事務局 ☎・F 059-245-1699 (高)

三重県ことばを育む会

構音障害・吃音・口蓋裂・難聴そして発達に障がいのある児童・生徒や言語通級指導教室に通級する親が中心となって活動している三重県ことばを育む会です。

今年度も言語・聴覚・発達に障害を持つお子様の保護者の方々を対象とした相談会を開催します。ことばが遅い、発音に問題がある、聞こえに問題があるようだ、友達とのコミュニケーションの事で悩んでいるなど、お心当たりのある方はぜひおいでください。小中学校に設置された言語・難聴・発達通級指導教室を担当される先生方から適切なアドバイスを受ける事が出来ます。また、同じような障がい児を持つ当会会員と情報交換等も可能です。なお、当日は専門家の先生をお招きしての研修会も予定しております。託児もいたしますので、お子様連れで気軽に参加してください。

相談会日程

日時：平成22年11月14日(日) 13:30～(予定)

場所：サンワーク津(津市)

研修会日程

日時：平成22年11月14日(日) 10:00～12:00(予定)

場所：サンワーク津(津市)

講演者：未定

詳細は以下にお問い合わせください。

E-mail:fukudakk@human.mie-u.ac.jp

☎・F 0595-83-5002(福田)

三重心臓を守る会

「1人で悩まないで」

昨年度は新型インフルエンザに振り回された一年でした。

今年度は6月6日(日)の総会後に延期になっていた「心臓病に関連した肝臓病の治療」三重大教授・竹井謙之先生の講演・相談会を津庁舎で行ないました。また、三重大入院中の方にも参加していただけるように11月20日(土)午後2時から三重大副院長でもある新保秀人心臓外科教授に「小児心臓病：最近の話題」の講演・相談会をしていただくことになりました。また、そのときに

他支部で好評だった「体験コーナー…心臓の手術・治療にはこんな器具が使われています」(仮題)として展示説明していただくことになりました。

年間行事としては難病相談支援センター主催の地域難病相談会になるべく参加して地方の心臓病児者に対応します。

心臓病の子ども達の自立に向け、療育キャンプ、カラオケ、クリスマス会、イチゴ狩りなど企画して「僕だけが心臓病で悩んでいるのではない」と解ってもらえたらと考えています。入学、運動制限、高校受験、就職、結婚、出産と大きくなって悩みは尽きませんが、会員が相談しあうことでその子・その人にあった道と一緒に探っていく会を目指しています。

事務局 ☎ 059-255-4661(西村)

☎ 059-229-2506(油島)

三重県肢体不自由児(者)父母の会連合会

県肢連事業活動に対してご理解ご協力を戴き、誠に有り難うございます。

さて現在の厳しい経済環境の中、景気後退による雇用環境の悪化、消費低迷等社会情勢は混沌としています。障害者自立支援法は、高い理論とは裏腹に今までに色々な、指摘を受け特別対策や緊急措置の軽減措置を講じ対応して来ています。

3年経過後の見直しにおいては支援の一層の充実を図り障害児・者が日常生活又社会生活を営む事が出来る様にする為、根強い批判のある一割負担を所得に応じた応能負担に変更したり、負担の資産要件撤廃や相談支援体制の充実、障害児支援の強化等幅広く見直しがされています。

しかし見直し内容が不十分な事も多く、実施時期も含め今後の動向を注視していく必要があります。そういう状況の中ノーマライゼーションの理念の障害児・者の社会参加と自立をめざして、『親・保護者』が力を合せ可愛い子供達が『生まれ育った地域』で安心して、生活出来る福祉環境を目指して頑張りましょう。

【事業活動・行事のご案内】

◇『障害者の明るいくらし』促進事業計画について

期日 平成22年7月11日(日)

会場 東映太秦映画村 映画村で体験学習

～見る・作る・学ぶ・参加する～

◇県肢連主催 福祉(伊勢市)大会

期日・会場について、協議中

◇全肢連主催 全国福祉(北海道)大会

期日 平成22年9月4日(土)～5日(日)

会場 札幌市教育文化会館

◇東海北陸BL 福祉(静岡県)大会

期日 平成22年6月19日(土)～20日(日)

会場 静岡県静岡駅前 ホテルアソシエ

◎詳しくお尋ねされたい方は下記まで

事務局 ☎ 0599-85-0987 (伊藤)

F 0599-85-3731

三重県精神保健福祉会

三重県精神保健福祉会(さんかれん)が取り組んでいる活動を紹介させていただきます。

まず、精神障がい者を取り巻く誤解・偏見を解消するための啓発活動です。毎年、県下をめぐりながら、「交流」を軸にした啓発研修イベントを開催しています。今年は津市で6月に開催しました。最近、中学・高校生での発症が増加していることから、「思春期の早期支援」をテーマにしました。早期支援については、医療関係者、教育関係者、家族会が連携しながら「“悩み”と“病”の見分け方」を定着させるべくネットワークを構成しています。尚、研修イベントの内容は機関紙「あゆみ」として編集発行し、啓発教材としています。

スポーツでは、障がい者スポーツの正式種目となったソフトバレーボール三重県大会を主催し、社会参加活動の一端を担っています。今年は参加チームが12チーム以上となり、うれしい悲鳴を上げています。

また、陸上競技・卓球・フライングディスクにも、まず「参加する」ことを大切にしながら、参加者を増やしていきたいと思っています。

また、メンバー(当事者)のアパート入居時の保証人事業を展開しています。詳細は当団体(さんかれん)までお問い合わせください。

私たちが一番困っているのは、一般医療費助成の問題です。精神の手帳所有者でも無年金の方が多いのです。障がいの特性で長い期間(2～5年)の陰性症状の時に国民年金をかけることができず、無年金となった方です。

県内で手帳所持者の8割強の方がなんの医療助成もないのは不公平です。

私たちは「三障がい同等の医療費助成」をお願いしています。

スポーツや文化の分野で、障がいの種別をこえて社会参加活動をする上でも、心底いっしょに手に手を取って“ふれあい”笑いあうためにも必要なことだと思います。(理事長 山本 武之)

事務局 〒514-8567 津市桜橋3丁目446-34

三重県こころの健康センター内

☎・F 059-271-5808

E-mail:sankaren@sbm.mint.or.jp

三重県知的障害者福祉協会

三重県知的障害者福祉協会の活動状況について

平素は、知的障害のある方々のスポーツや文化、レクリエーション活動等への参加促進に関して、三重県障害者社会参加推進センターのご支援、ご指導を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

当協会といたしましても当事者の交流事業や支援者の研修事業等を通じて知的障害のある方々があらゆる場面への参加がより可能となるよう支援の充実を図って参る所存であります。

ご承知のように政権交代後、障害者福祉の新法「障害者総合福祉法(仮称)」策定に向けた動きが国のシステムとして、障害当事者を中心に大きな一歩を踏み出しております。

しかし、一方では新政権下における政局不安が尚続いており、新法策定への期待とは裏腹に大きな不安も起こってきております。

障害者自立支援法施行後、3年を経過した現在、私たち福祉協会は支援の在りよう支援法について身近な実践の中で検証を行うため、支援法に定められた、個別支援計画、サービス管理責任者の業務等について現場での取り組みに基づき、その意義や役割、問題や課題等を明らかにする取り組みを本年度初めから進めております。

知的障害のある方々が支援を受けながら安心して地域で暮らすためにとても重要な課題としてこれを位置づけ、新法策定を視野に入れた一つの提言として発信出来るよう努力したいと考えております。

つきましては、関係者の皆さんの当協会へのご意見、ご指導並びにご支援を賜ればと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

事務局 ☎ 059-268-1115 (本弘)

三重県立特別支援学校長会

平成22年度一般公開されています特別支援学校行事について紹介します。

盲学校

7/16(金) 学校公開

盲学校

9/25(土) 運動会 雨天順延

盲学校グラウンド

聾学校

10/9(土) 体育祭

聾学校グラウンド

11/20 (土) 学校祭 聾学校
 特別支援学校北勢きらら学園
 11/13 (土) きららまつり (文化祭)
 北勢きらら学園
 特別支援学校西日野にじ学園
 6/30 (水) 学校見学会 (小・中学部)
 西日野にじ学園
 10/16 (土) 西日野まつり (文化祭)
 西日野にじ学園
 1/14 (金) 学校見学会 (中3) 西日野にじ学園
 杉の子特別支援学校
 6/10 (木) 運動会 (小学部) 杉の子体育館
 6/11 (金) 運動会 (中・高等部) 杉の子体育館
 10/16 (土) 文化祭 杉の子特別支援学校
 杉の子特別支援学校石薬師分校
 6/12 (土) 運動会 石薬師分校
 10/28 (木) 文化祭 石薬師分校
 29 (金)
 稲葉特別支援学校
 8/27 (金) 公開研修会 (講演とミニ講座)
 稲葉特別支援学校
 9/26 (日) 運動会 (雨天28・火)
 稲葉特別支援学校運動場
 11/13 (土) 学校祭 稲葉特別支援学校
 城山特別支援学校
 11/27 (土) 文化祭 城山特別支援学校
 特別支援学校伊賀つばさ学園
 5/29 (土) スポレク祭 伊賀つばさ学園
 8/6 (金) 夏祭り18時~20時 伊賀つばさ学園
 11/13 (土) つばさまつり 伊賀つばさ学園
 特別支援学校玉城わかば学園
 9/25 (土) 運動会 (雨天28・火)
 玉城わかば学園グランド
 11/20 (土) わかば祭 玉城わかば学園
 度会特別支援学校
 5/30 (日) 運動会 度会特別支援学校体育館
 10/30 (土) 文化祭 度会特別支援学校
 特別支援学校東紀州くろしお学園
 5/30 (日) 運動会 木本小学校体育館
 11/14 (日) 文化祭 熊野市文化交流センター
 特別支援学校東紀州くろしお学園
 6/13 (日) 運動会 おわせ分校体育館
 11/7 (日) 文化祭 おわせ分校体育館
 事務局：三重県立特別支援学校長会
 (三重県立特別支援学校玉城わかば学園内) (堀出)
 ☎ 0596-58-2716

三重県重症心身障害児(者)を守る会

平成21年度の諸行事及び研修会

①第37回医療講演会

平成21年10月11日 於 県教育文化会館

参加者 131名

講師 国立三重病院 庵原院長

「新型インフルエンザウイルス対策」

講師 三重大学教育学部 菊地准教授

「障がいの重い子供とのコミュニケーション」

②在宅交流セミナー(国庫補助事業)(保護者研修)

平成21年11月8日 於 鈴鹿市福祉センター

参加者 42名

講師 おおたキッズクリニック 太田院長

「発熱とは、風邪とは」

講師 国立鈴鹿病院 森田看護師

「障害者へのより良い介護と療育」

講師 鈴鹿市障害福祉課 松井課長

「鈴鹿市の福祉サービスと現状と今後」

講師 障害者総合相談支援センター

あい相談員 古澤、黒田先生

「在宅生活のための地域支援について」

③在宅児(者)に対する一泊保養(県委託事業)

平成22年2月28日~29日 参加者 78名

紀州地区 於 熊野瀨流荘

平成22年3月12日~13日 参加者 28名

伊勢、中勢地区 於 榊原、猪の倉温泉芙蓉荘

平成22年度行事計画

①全国重症心身障害児(者)を守る会関係

1) 全国大会

平成22年6月26日~27日 於 岡山市

2) 東海、北陸ブロック大会

平成22年11月13日~14日 於 高岡市

その他専門部会、各理事会等8回予定されています。

②三重県 三重支部の行事

1) 第38回医療講演会 四日市市予定

2) 在宅交流セミナー 伊勢市予定

3) 一泊保養事業

紀州地区 瀨流荘予定

北勢、中勢地区 湯ノ山予定

③その他、県理事会、年間6回予定

「障害者自立支援法」が施行されて三年が経過し「障害者自立支援法」等の一部を改正する法律案が国会に提出されましたが衆議院の解散により

廃案となり新政権が障がい者総合福祉法（仮称）を創設し12月8日に内閣総理大臣を本部長とする「障がい者改革推進本部」の設置が閣議決定され当面5年間の障害者の制度に係る改革の集中期間と位置づけ改革推進に関する総合調整及び改革推進の基本的な方針の作成及び推進並びに法令等における「障害」の表現の在り方に関する検討を行うとされる。

障がい者制度改革推進会議は、毎月検討会が行われており今後の結果を期待したいと思います。

事務局 ☎ 0595-68-1702（福西）

三重県身体障害者総合福祉センター

三重県身体障害者総合福祉センターは、身体障害者福祉センターA型の事業として、障がい者スポーツ大会を開催しています。この大会は翌年度の全国障害者スポーツ大会の予選も兼ねています。日頃の成果を存分に発揮して、是非全国大会出場を目指してください。

「第13回三重県障がい者スポーツ大会」のお知らせ 【陸上競技】

日程：平成22年9月11日（土）
（予備日）平成22年9月12日（日）
会場：三重県営総合陸上競技場
（伊勢市宇治館町510）

【フライングディスク】

日程：平成22年11月6日（土）
（予備日）平成22年11月7日（日）
会場：三重県身体障害者総合福祉センター
（津市一身田大古曾670-2）

【ボウリング】

日程：平成22年11月27日（土）
会場：津グランドボウル
（津市大字垂水下境915-1）

【卓球】

日程：平成23年1月23日（日）

会場：三重県身体障害者総合福祉センター
（津市一身田大古曾670-2）

「第10回全国障害者スポーツ大会 “ゆめ半島千葉大会”」のお知らせ

日程：平成22年10月23日（土）～10月25日（月）
（派遣期間：平成22年10月22日～10月26日）

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
経営企画グループ

☎ 059-231-0155 F 059-231-0356

ホームページ：<http://www.mie-reha.jp>



当協会では次の事業を行っています。

- 1、障害者雇用に関する事業主への支援、各種助成金制度、啓発活動
- 2、高齢者等の雇用に関する事業主への支援、各種助成金制度
- 3、若年労働力確保対策

なお、障害者雇用の理解と認識を得るため、「障害者雇用支援月間」（9月）を中心に関係機関と相まって雇用の啓発活動を展開しております。

また、障がいのある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に理解と認識を深めるため、「アビリンピックみえ」を開催しています。種目は、パソコン文書、表計算、機械CAD、電子機器組立、喫茶サービス、特に機械CAD、電子機器組立部門の参加人数が少ないため、極力参加を希望します。

詳細等は、社団法人三重県雇用開発協会までお問い合わせください。

大会事務局（社）三重県雇用開発協会

津市島崎町137-122 ☎ 059-225-7832

ホームページ <http://www.mie-koyoukaiatsu.or.jp>

E-mail: mie@vy.jeed.or.jp

身体障害者スポーツ教室 ～初心者の方も気軽にお越しください～

初心者教室	練習日・場所	連絡先
電動車椅子サッカー教室 （電動車椅子使用者）	毎週日曜日 13時～16時 三重県身体障害者総合福祉センター体育館	三重県電動車椅子サッカー連絡会 TEL 059-383-0653（マックス小倉）
アーチェリー教室	毎週木曜日19時～21時 毎月第4日曜日10時～17時 平成23年3月27日（日）10時～17時 四日市市障害者体育センター	シューティングスターズAC FAX 059-332-6376 携帯 090-1288-7973（西村）
車いすテニス教室	毎週水曜日18時～21時 毎月第2日曜日10時～17時 平成23年2月13日（日）予定 四日市市障害者体育センター	三重県車いすテニス協会 TEL 0594-48-4410（石川）

第16回 厚生労働大臣杯 全国身体障害者ゴルフ大会

全国の身体に障がいを持った方々が、「困難の克服と自立」をコンセプトに、明るい快活な人生の新たなページとするゴルフトーナメントです。

開催日 平成22年11月2日(火)
「前夜祭」・「懇親の夕べ」
平成22年11月3日(祝)
「ザ・チャレンジドゴルフトーナメント」

会場 津カントリー倶楽部(三重県津市片田長谷町30)

主催 NPO法人日本ザ・チャレンジドゴルフ協会

主管 ザ・チャレンジドゴルフトーナメント実行委員会

後援 厚生労働省、三重県、津市
日本身体障害者団体連合会
三重県身体障害者福祉連合会等

協力 日本ゴルフ協会等

〔参加者募集概要〕

競技方法 18Hストロークプレー

参加資格 身体に障がいのある方でゴルフをされる方(年齢不問)

募集人数 150名

参加費 18,000円(プレー代・前夜祭・表彰式パーティ費含む)

参加申込 「所定用紙」事務局へ

申込期日 平成22年9月30日(木)

事務局(申込・お問合せ先)
津カントリー倶楽部内 ザ・チャレンジドゴルフ事務局
〒514-0077 三重県津市片田長谷町30
TEL 059-239-1511 FAX 059-239-1512

第47回 友愛のつどい(集団見合い)ご案内

日時 平成22年7月25日(日)
10:00~15:00 (受付) 9:30

場所 四日市港ポートビル2階 大会議室

申込期間 平成22年7月20日(火) 必着

対象者 県内及び周辺の県に居住する未婚の男女、障がい者を理解し結婚を希望する人

定員 40名(男20名 女20名) 先着順

参加費 男性 2,000円 女性 無料 付添 2,000円
※送迎バス有り(太陽号)

詳しい内容についてのお問い合わせは、
社団法人三重県身体障害者福祉連合会結婚相談係
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182



三重県盲ろう者・通訳介助者養成研修会のご案内

平成22年度の盲ろう者・通訳介助者養成研修会を開催します。

開催日 8月28日(土)・29日(日)・9月25日(土)
10月10日(日)・17日(日)・30日(土) 6日間

時間 9時~16時

場所 三重県身体障害者総合福祉センター
大研修室(津市)

申込期間 平成22年7月1日(木)~20日(火)必着

詳しい内容についてのお問い合わせは、
社団法人三重県身体障害者福祉連合会
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

2010年度 県民人権講座

県民人権講座を開催します。身近なところにある「人権」について、一緒に考えてみませんか。

★日時 7月19日(月・祝)
13:00開場 13:30開演

★場所 三重県人権センター 多目的ホール
津市一身田大古曾693-1
TEL 059-233-5501

★入場料 無料

「補助犬、聴導犬を知ろう」
社会福祉法人 日本聴導犬協会
会長 有馬 もと氏

目が不自由な人の歩行をサポートする「盲導犬」
体が不自由な人の暮らしをサポートする「介助犬」
耳が不自由な人へ生活に必要な音を知らせる「聴導犬」
これら3つを総称し「補助犬」といいます。
補助犬は身体障害者の方の生活をサポートするだけでなく、人と人を結ぶ存在です。

今回は、「訓練側の理想ではなく、障害者のニーズにそった補助犬育成」をめざし、人と動物が共に暮らし、障害者の自立と社会参加を目指し活動している(福)日本聴導犬協会からトレーナーと、

聴導犬にお越しいただき、補助犬、聴導犬の役割や会の活動などを紹介していただきます。

また、実際の活動をわかりやすく紹介する「デモンストラクション」も予定しています。

15:30~ 「聴導犬とのふれあい」~聴導犬体験講座~
(社)三重県身体障害者福祉連合会主催

玄関チャイムや電話など、生活の中で必要な音がしたときに、どんなふうに教えてくれるのでしょうか。

聴導犬との暮らしを体験してみましよう。

<同時開催>

7月15日(木)~8月8日(日)
アトリウム特別企画展「ほじょ犬」
パネル11枚の展示
ビデオの上映
パンフレットの配布



平成22年度三重県身体・知的障害者 相談員等研修会を開催

毎年開催している「三重県身体・知的障害者相談員等研修会」を6月23日（水）に、三重県人権センターで開催しました。

障がい者が安心して自立した生活や社会参加を促進するには、障害者相談員による相談支援は、地域に根ざした大切な活動です。

地域で活躍している身体・知的障害者等相談員の方を対象に相談対応能力の向上と相談員間の連携を目的として、次のプログラムで行いました。

1、報告

「障害者相談員の活動状況～地域の連携と活性化を相談員活動から始めよう～」と題して、県健康福祉部障害福祉室徳本主幹から、現状の相談員の活動状況等を報告いただきました。

2、人権研修

「私が考える自立生活」は、鈴鹿市住在で重度障害者の小倉健さんに、自らの出生時から今日まで、「障がいをもって生きていくこと」を人生の

テーマとされて生きてこられた苦しみ・挫折・努力・思いなどを語っていただきました。

3、シンポジウム

「相談員活動から見えてくること～相談員活動の活性化について～」をテーマとして、身体・知的・精神・難病の相談員4名（下記の方）の方をパネリストにとり、助言者に県健康福祉部障害福祉室板崎副室長にお願いし、県身連山本会長をコーディネーターとして開催しました。

障害者相談員は、地域の障がい者の支えとしてその重要性が問われており、地域の障がい者の期待に応える方策等を議論しました。

パネリスト

河原 洋紀 氏（難病相談支援センター長）

島田都三男 氏（身体障害者相談員）

高鶴かほる 氏（知的障害者相談員）

山本 武之 氏（精神障害者相談員）

「自立生活を送る障がい者の モデルになる」

おぐら けん
小倉 健

私は1975年に8ヶ月の早期出産で約1,300グラムの未熟児として生まれ、2歳のころに脳性マヒの障害認定を受けました。「障がいをもって生きていくこと」が私の人生のテーマとなり、この事が良くも悪くも私の人生に影響を与えています。

幼少期は自宅で過ごしましたが、小・中・高校は津市にある城山養護学校（現：城山特別支援学校）で学びました。入学するまで家族以外の人と触れ合うことがなかったので、学校はドキドキワクワクの世界でした。児童会長や生徒会長を経験し、常にリーダーシップをとっていたので期待されることが多く、「がんばれ、がんばれ」とよく言われました。「こんなにがんばっているのに…」と思いながらも、本音を出せないこともありました。

○卒業後の進路を決めるなかで見えてきたことは…

将来への活路を見出したい思いから、高等部は商業コースへ進学しました。しかしこの頃から、将来への漠然とした不安が襲ってきて悲観的になった時期がありました。本当に追い込まれたとき、いい意味で開き直すことで、自分のなかに変化が起きました。「あきらめるのはいつでもできる。限界までチャレンジしたい」と。「将来は働いて、友だちいっぱいつくって楽しむぞ」と自分に言い聞かせながら、高3の一年間は一日8～9時間の勉強をして、わずか半年間に6つの資格を取得しました。なかでも全商簿記検定1級は、全日制商業科の高校生と共に受

験し、難関（約350人受験して合格者10人）を突破することができました。応援してくれた家族や先生方もとても喜んでくれました。まさに限界突破でした。これらの経験が、今でも私の自信の土台となっています。

「もっと自分を磨きたい」と思い、通信教育課程がある大学への進学を希望しましたが、車椅子生活では体育の単位を取得できないことを理由に大学側から受け入れを拒否されました。進学の道を断られた私は就職を考えましたが、その頃の私は生活のほとんどの場面で介助が必要で、一人では通勤もトイレに行くこともできませんでした。「そんな状態であなたに紹介する就職先はない」と職安に就職の斡旋も拒否され、目の前が真っ暗になりました。「学びたくても学べない。働きたくても働けない」。資格さえ取れば道が開けると思っていた私は、厳しい現実を突きつけられ、情けなさや悔しさでいっぱいになりました。

一時はふさぎ込みましたが、悩んでいても何の解決にもならないと思い、親元から離れ、施設に入所して生活面の訓練をしました。自立するために何が必要かを考え、時間はかかってもあきらめずに訓練を続けました。また、地域に出かけることがほとんどなかったので、外出することも積極的に行いました。それまでは知人や友人が少なかった私は、自分で名刺を作って、出会った方々約200人に配り、人のネットワークを構築しました。

また、楽しみながら電動車椅子の操作技術を向上させるために電動車椅子サッカーチームを立ち上げました。まさか自分がスポーツができるとは思いませんでしたし、競い合うなんてことは諦めていまし

た。電動車椅子サッカーに出会ったことで、チームメイト一人ひとりにも目的ができ、私も含めて皆が積極的に外出できるようになったのは嬉しかったです。全国大会で優勝したこともあり、今でも活動を続けています。

○「障がい者の人権」について現代社会における課題と将来への思い…

「働いて家庭をもって幸せになりたい」。障がいがあるなしに関わらず、こう願うのは当たり前のことです。でも現実社会では、障がい者自身に「自分のことは自分で決める」という選択肢があまりにもなさすぎます。「自分のことは自分で決める」ということは、責任を持つことになります。私はその選択肢をつくる作業を続けてきました。障害者雇用が遅々として進みませんが、企業に効率性や生産性のみを求める議論をされたら障がい者は何も言えなくなります。また作業所等で得る報酬より、支払う作業所の利用料の方が高くなってしまふなど、自立支援法により障がい当事者の経済的負担が重くなっています。「自分の力でがんばれ」と言われても、障がい者が参加できるステージが職場や地域にないので、「がんばりたくても、がんばれない」のです。

このステージが社会に用意されていたら、障がいがあっても誰もが絶望しなくてもいいのです。なぜなら、障がいがあるとかなわないことが現代社会では圧倒的に増えるからです。

私の願いは、障がいをもちながら、あきらめずに生きていけることが実現する社会に変えていくことです。「就職して、納税する」ことが一つの目標です。社会の構成員としてみなさんと本当の意味で打ち解け、偏見をなくしていきたいと心より思っています。そのためにも、新たに中小企業診断士の資格取得にチャレンジしています。福祉の方面に進めば、自分自身は大切にされると思いますが、甘えも出てしまいます。甘えのきかない、より厳しいプロの世界で自分を磨きたいし、その方が人生がおもしろくなると思います。

結婚して自立している兄の存在に刺激を受けるし、励まされます。必死で働き、私たちを一人で育ててくれた母親の姿を見ていたら、怠けたいとは思いません。自分が目標をもってがんばることで、自立生活を送る障がい者のモデルになろうと思っています。夢が実現するまで私のチャレンジは続きます。

(平成22年6月23日(水)三重県身体的障害者相談員研修会資料抜粋)

肝臓機能障害が身体障害者手帳の交付対象に

平成22年4月1日から肝臓機能障害が身体障害者手帳の交付対象に追加されました。

一定の肝臓機能障害により日常生活に支障をきたしている方に身体障害者手帳が交付されます。

また、肝臓移植及び肝臓移植後の抗免疫療法に係る医療費の自己負担が軽減される(自立支援医療費)等の支援が行われます。

手続き方法や認定基準等詳細は、市町の担当窓口までお問い合わせください。

なお、身体障害者手帳の交付対象に肝臓機能障害が追加されたことを受け、4月1日から「駐車禁止除外指定車標章」の交付対象に「肝臓機能障害1級～3級」の方が追加されました。

ゆめ半島 千葉大会
(第10回全国障害者スポーツ大会)
ゆめ半島 みんなが主役 花咲く笑顔

会 期 平成22年10月23日(土)～25日(月)
開・閉会式会場 幕張メッセ国際展示場

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(問合せ) 電話(フリーダイヤル)
0120-263-323

市町別手帳交付者数

(平成22年4月1日現在) (単位:人)

市町名	身 障 手 帳 (児 ・ 者)	療 育 手 帳	精 神 保 健 福 祉 手 帳
津 市	12,534	1,629	1,273
四 日 市 市	10,356	1,775	1,174
伊 勢 市	6,621	793	491
松 阪 市	6,288	947	734
桑 名 市	4,278	751	810
鈴 鹿 市	6,525	1,107	589
名 張 市	2,861	531	551
尾 鷲 市	1,341	125	66
亀 山 市	1,827	195	130
鳥 羽 市	1,048	154	54
熊 野 市	1,259	173	115
い な べ 市	1,690	249	147
志 摩 市	2,671	331	229
伊 賀 市	4,876	594	360
木 曽 岬 町	185	33	19
東 員 町	817	113	65
菰 野 町	1,422	256	131
朝 日 町	201	37	24
川 越 町	402	70	47
多 気 町	608	88	32
明 和 町	908	107	57
大 台 町	563	87	34
玉 城 町	597	83	38
度 会 町	340	34	18
大 紀 町	654	67	39
南 伊 勢 町	958	128	63
紀 北 町	1,397	150	69
御 浜 町	461	74	37
紀 宝 町	754	66	34
そ の 他	107		
県 合 計	74,549	10,747	7,430